

## 全校漢字テストへの取組例（継続練習と評価テスト）

### 全校漢字テスト（継続練習と評価テスト）の取組例

1 授業の進度に関わらず、毎日、2つずつ新出漢字の練習をする（宿題）。

新出漢字の読みを確認し、その漢字を使った言葉を全体で想起する。

・同音の漢字と意味を間違っている場合があるので、そのときに確認する。

漢字の成り立ちを理解する。

・高学年は漢字事典で成り立ちや意味を自分で調べる。

・低中学年は教師が説明する。

成り立ちを説明すると、漢字学習への意欲が高まる。

教師が板書した漢字を見ながら指で空書きをする。

・書き順、止め、はね、払いをそのときに確認する。

漢字をノートに書き写す。

・一画目は赤、二画目は青、その後は鉛筆で書く。

・「はつがしら」のように、書き順を間違えやすい漢字

は、途中も赤や青を使い、書き順を確認する。

新出漢字が入った言葉を全体で想起し、ノートに書く。

・新出漢字のみ練習するのでなく、その漢字が入った言葉

を練習する。

・読み方が多数ある漢字も、一つ一つ言葉を考える。

家庭で練習する。

・言葉をノートの下まで繰り返し練習する。

・練習した言葉を使った文章を書くことで、学習した漢

字を文章中で使う力を養う。

2 ミニ漢字テストの実施（テストで習熟を図る）

学習した漢字十個を、翌週に毎日（一週間で五回）の漢字テストに出題する。

・出題する言葉は、漢字練習で書いた言葉とは限らない。

児童にはあらかじめ、教科書の巻末に掲載されている言葉の例から出題することを説明しておく。

説明しておく、土日の自主勉強で漢字練習に取り組むことができる。

漢字テストはその場で児童が自ら丸つけをして、間違った漢字は赤で訂正する。

・近くの席の児童と交換して丸つけをするのも良い。

訂正が終わったら、教師に見せる。

・正確に訂正できない児童もいるので、必ず教師が確認し、賞賛や励ましの言葉をかける。

テストはファイルし、金曜日に自分の習熟度を確認する。

3 漢字五十問テストの実施【学期ごと】

練習した言葉の中から五十個選び、テストを実施する。

・長期休み前にどの言葉を出題するかを児童に説明し、休

み中に練習させる。

頑張った達成感を味わい、漢字テストの意欲が高まる機会となる。

4 自主勉強での取り組み

自主勉強では練習の例を出して、反復練習以外の漢字練習

に取り組ませている。

練習例：「同じ部首の漢字を集めよう」「反対の意味の漢字

を集めよう」